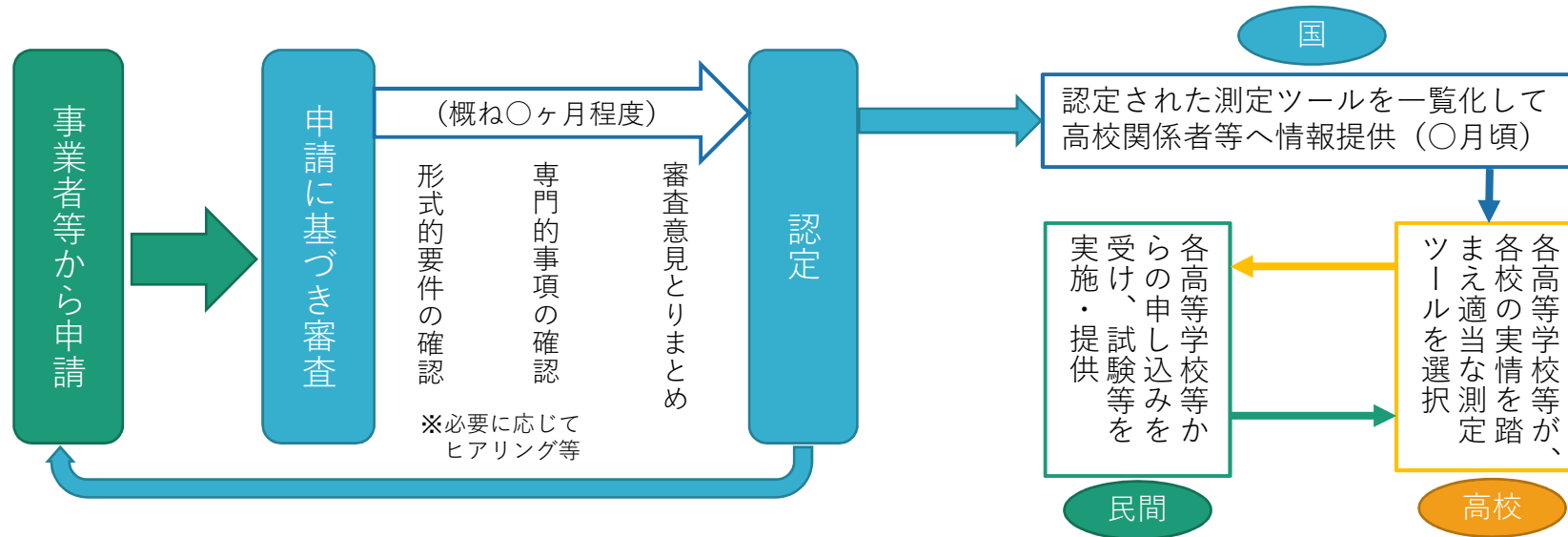


審査・認定・利用の流れ（イメージ）



年度展開（想定スケジュール）

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度～
制度の設計・運用	<p>実施方針</p> <p>基準・審査要項の策定（年度内目途）</p> <p>基準原案等の提示（年内目途）</p>	<p>申請受付開始（〇月目途）</p> <p>審査</p> <p>認定</p> <p>情報提供（〇月目途）</p>	<p>申請受付開始（〇月目途）</p> <p>審査</p> <p>認定</p> <p>情報提供（〇月目途）</p>	<p>前年度事業概要報告</p> <p>申請受付開始（〇月目途）</p> <p>審査</p> <p>認定</p> <p>情報提供（〇月目途）</p>
利活用		<p>次年度計画検討</p> <p>選択（一部実施）</p>	<p>← 各校の計画に基づき実施 →</p> <p>次年度計画検討</p> <p>選択</p>	<p>← 各校の計画に基づき実施 →</p> <p>選択</p>

認定の仕組み（申請内容の確認）のイメージ

国において示す事項

認定要件（イメージ）

- ◇出題に関する事
- ◇結果提供に関する事
- ◇実施に関する事
- ◇情報開示に関する事
- ◇報告に関する事

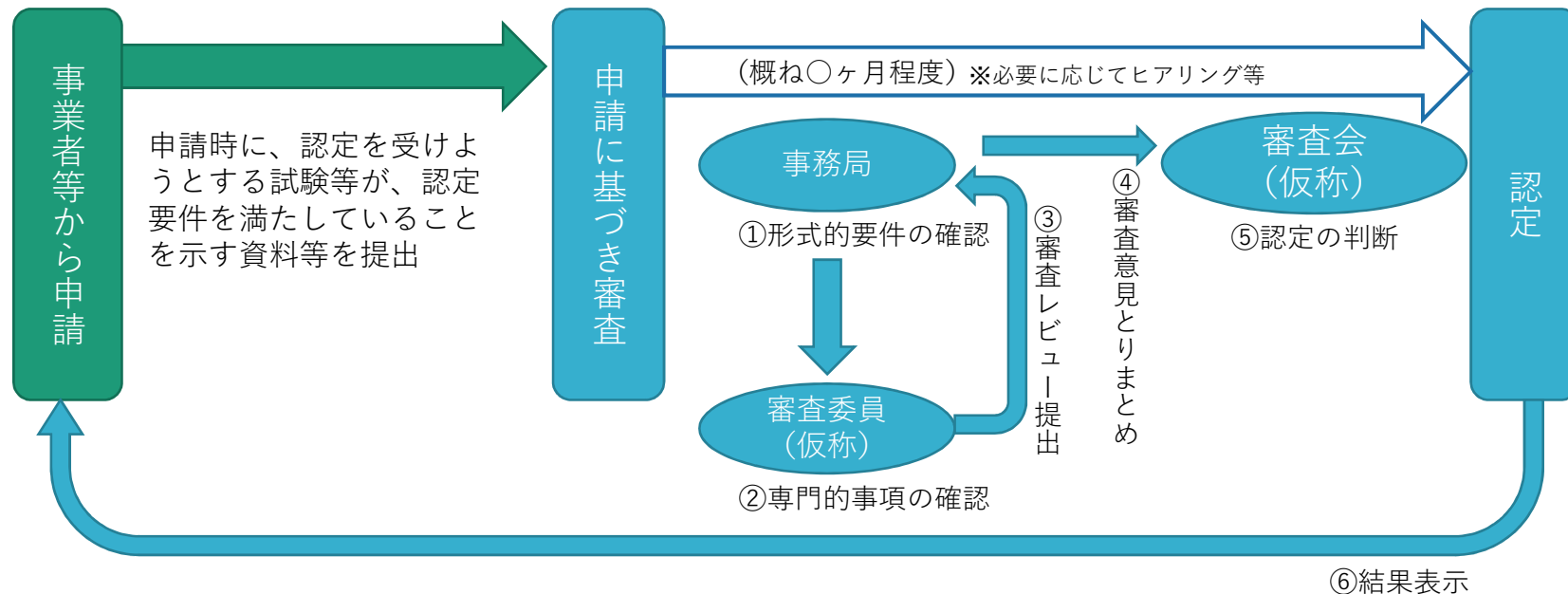
申請の手続（イメージ）

- ◇申請時期
- ◇申請書その他の必要書類
- ◇申請時の必要記載事項
- ◇標準処理期間
- ◇審査結果の表示

審査の観点（イメージ）

- ◇申請の形式的要件の具備状況の確認
- ◇申請において、試験等が認定要件に適合していることが示されているか

イメージの一例）審査委員（仮称）の下審査を基に、認定の判断を行うパターン



事後チェック体制のイメージ

認定測定ツールの実施者

文部科学省

平成〇年度事業概要報告

(項目のイメージ例)

- ・ 実施校数
- ・ 全体傾向
- ・ サンプル問題
等

※具体的な項目や内容については要精査

毎年度報告

(報告の活用例)

- ・ 実施状況のフォローアップ
- ・ 効果分析
- ・ 情報発信 (公表)

<要検討事項>

- ・ 取消しの性格と事後チェックの関係
- ・ 国の教育施策に生かすための情報の整理
- ・ 実施者にとっての許容範囲
- ・ 開示情報と非開示情報の仕分け
等

- ・ 目的を明確にして報告を求める項目・内容を設定。
- ・ 各実施者が有するデータは社会的価値を有する一方で、提供を求める際には負担の軽減にも配慮が必要。

高等学校等への情報提供イメージ

